



# O's News

2  
2026

## 脳神経外科医療もAIの時代です

理事長・院長 大西 宏之

脳神経外科は、脳動脈瘤、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、外傷など、極めて精密な判断と技術が求められる分野です。手術中の1ミリの違いが患者さんの生活の質に直結するため、これまでも最新の画像診断装置やナビゲーション技術など次々と導入されてきました。

そして今、脳神経外科医療においてもAI技術が大きく注目されています。

### 1. 画像診断の精度向上

脳神経外科医の重要な仕事のひとつは、MRIやCTなど膨大な画像データから異常を正確に見つけることです。AI画像解析技術の進歩により、微細な腫瘍や早期の血管異常を高精度に検出できるようになり、医師の見逃しリスクの低減につながっています。

### 2. 手術支援ロボットとAIの融合

AIはロボット手術にも組み込まれつつあり、術中ナビゲーションの高精度化、最適な術野の選択、器具操作の自動補正などが可能になっています。今後、脳神経外科の分野においても術者の技術を補完し、より安全で安定した手術が期待されています。

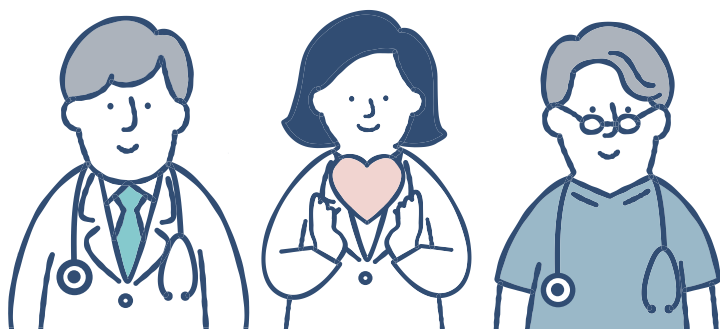
### 3. 予後予測と治療方針の最適化

AIは過去の膨大な臨床データを学習し、病気(脳動脈瘤の破裂リスクや脳腫瘍の質的診断など)の予後予測や術後の回復、合併症のリスクを予測するモデルを構築できます。これにより、患者一人ひとりに最適化された治療戦略を立てやすくなり、個別化医療が加速しています。

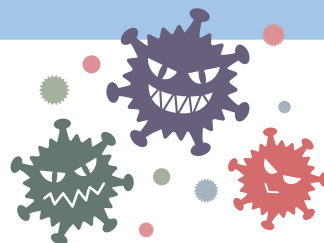
AIの精度はあくまで過去のデータに基づく予測であり、全てにおいて最適な答えを導くわけではありません。ですので現時点では、AIは医師の判断力や経験を補完する強力な支援ツールとして活用されています。脳神経外科のような領域では、患者の状態判断、術式の選択、緊急対応など、人間ならではの洞察や総合判断も不可欠です。AIはそれらの意思決定を後押しすることで、医療の質と安全性をさらに高める役割を担います。

AI技術はまだ進化の途上にあり、今後はさらなる展開が期待されています。完全自動化された脳血管病変の検出やAIによる術中リアルタイム解析とフィードバック、一人ひとりの遺伝情報に基づく治療提案などこれらが実現すれば、脳神経外科医療はさらに安全・迅速・個別化へと進化し、患者にとっても医師にとっても大きな価値を生む未来が広がります。

しかし、医療の本質は医師と患者の信頼関係にありますので、AI技術がいくら進歩したとしても患者さんの不安や訴えに耳を傾け、その患者さんに合った最適な医療を提供することには変わりありません。



# ノロウイルスに 要注意



感染対策室 副係長 看護師 出口 英典

まだまだ寒い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

この時期に要注意なのが、インフルエンザや新型コロナウイルスなどのウイルス感染症。その中でも今回は、感染性胃腸炎を引き起こすノロウイルスについてお伝えいたします。

ノロウイルスは感染力が非常に強く、「数十個のウイルスで感染し、アルコール消毒が効かない」ため、感染が広がりやすいです。感染対策はいくつかありますが、ポイントを2つに絞ってお伝えします。1つ目は、

「流水と石鹸でしっかり手を洗う」ことです。自分自身の体調不良はもちろん、ご家族に嘔吐や下痢の症状がある場合もしっかり手洗いが必要です。2つ目は、「吐物の処理」や「下痢症状のある方が使用したトイレの消毒」です。重要なのは、アルコール

ではなく塩素系漂白剤を薄めて消毒することです。吐物の処理方法は、インターネットで詳しく確認できます。お時間のある時に一度ご確認してみてはいかがでしょうか？



## NEWS STAFF

Okano Kiyoshi



脳神経外科医師

**岡野 聖**

(おかの きよし)

所属診療科 脳神経外科

## PROFILE

専門分野 脳外科全般

所属学会 日本脳神経外科学会  
日本脳神経外科学会コンgres  
日本脳血管内治療学会  
日本脳卒中学会  
日本脳卒中の外科学会

興味のある分野 脳血管外科

趣味 野球観戦 日本酒

### 患者さまへの一言

患者さんとそのご家族に対して、親身に向き合っています。

日本の四季暦

# 二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

きさらぎ  
＼ 2月(如月) ／

「立春大吉」の節分を迎え、冬の寒さの厳しい時期。  
「衣を更に重ねる月」＝「きさらぎ」と呼ばれました。

二十四節気  
大寒  
たいかん

1/30～2/3(第七十二候) 鶏始乳／にわとりはじめてとやにつく

一年を通して、四季の中での5日間を表現した、72候も、この候で締めくくられます。「立春」として新しい年が始まる旧暦では、その前日で一年が終わり、大晦日と同じ意味合いですね。「節分」の豆まきは、本来は年越しの行事として、邪気を払い、新しい年へ幸せを祈りました。



一節気  
立春  
りっしゅん

2/4～8(第一候) 東風解冻／はるかぜこおりをとく

風情のあるこの四文字で始まる立春。厳しい寒さの中に春を待つ心が感じられます。ゴボウは冬が旬。茶道の初釜に登場する「花びら餅」は、甘く煮たゴボウと白味噌餡を求肥でくるんだピンク色の季節の和菓子です。



寒さはまだ続きますが、日差しが少しずつ強くなり「光の春」を感じます。

2/9～13(第二候) 黄鶯睨睨／うぐいすなく

春を告げる鳥として昔から心待ちにされていたうぐいす。「ケキョケキョ」と飛びながら鳴く声は、「谷渡り」と呼ばれる、警戒の声です。春を告げる魚「春告魚」は、鯁(にしん)、鯁の卵があの「数の子」ですね。近年、漁獲量が増加傾向に♪



2/14～18(第三候) 魚上氷／うおこおりをいずる

早春はまだ寒く、寒暖差も厳しい中、厚くはっていた氷が少しずつ薄くなる頃、底でじっとしていた魚も水面近くへ。魚にとって一度の差は、人間にとって5度に匹敵するとか～。体の冷えるこの時季、37～39℃のお湯にのんびり15分ほど浸かる「微温浴」がおすすめです♡



二節気  
雨水  
うすい

2/19～22(第四候) 土脉潤起／つちのしょううるおいおこる

寒さで固くしまっていた大地が、少しずつゆるみ始める頃。海の岩に苔(こけ)のようにつく、文字通り海苔(のり)。早春の季語です。和紙の紙すきの技術の発達により、江戸時代から薄く伸ばした干し海苔が作られるように♪海苔10枚が1帖(じょう)です。



遠い雪国では、降る雪が雨に変わる頃。雨水は、農耕を始める目安となりました。

2/23～27(第五候) 霞始靦／かすみはじめてたなびく

冬の間くっきり見えていた山がぼんやりと霞始める頃、春独特の趣きある風景です。「楽天」は雲雀(ひばり)の異名です。鳴きながら、空高く舞い上がる様子を「掲げ雲雀」と呼びます。病院横の畑の空を天高くさえずる雲雀に、春の到来を感じます。



## ほうれん草

「ほうれん草」はペルシャ(今のイラン)辺りで古くから栽培され、中国語でペルシャを「ほうれん(菠薐)」と呼んでいたことが語源とされます。冬においしいほうれん草一。寒さや霜に当たると、葉は厚くやわらかくなり甘みも増します。栄養価も大きく違い、ビタミンCは夏採りに比べ3倍に～。その他、β-カロテンやビタミンB群を含み、造血に必要な鉄、葉酸も豊富、まさに「緑黄色野菜の王様」です。ポパイのほうれん草♪ なつかしいですね(^ ^)





# 外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高 橋〈顔〉	大 西(宏)	久 我	茶 谷	三 好
	午後	高 橋〈血〉	大 西(宏)〈血〉	久 我	茶 谷	三 好
2診 【予約制】	午前	前 岡	岡 本	角 田	富士井	酒 井
	午後	前 岡	岡 本	角 田	吉 村	—
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐 藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	吉 村	担当医〈血〉／麻酔科 鈴木
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平 林	脊椎・脊髄外来 山本
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 石田	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 石田	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿 部 第2・4・5週 小坂田〈FUS〉

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30 ※毎週金曜日9:20～ 6診 麻酔科 鈴木 (2026.2)  
※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 7診 脳神経内科 阿部

## 連携協力医療機関のご紹介

No.13

### 藤井クリニック

院長：藤井 徳夫

【認定資格・所属学会】日本内科学会、協力難病指定医

【診療科目】内科

【住 所】明石市別所町18-1

【電 話】078-927-5522

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
16:00～18:30	○	○	/	/	○	/	/

休診日：水・土曜午後、木、日、祝日



#### 藤井院長からのメッセージ

地域に根差した診療経験を礎に、職種や施設を越え、共により良い医療の実現を目指したいと考えています。

No.285

### 消化器内科・在宅 なおクリニック

院長：三宅 直美

【認定資格・所属学会】日本内科学会認定 総合内科専門医、日本消化器病学会認定 消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医、日本医師会認定 産業医、日本医師会認定 健康スポーツ医、日本医師会認定 認知症サポート医、日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会

【診療科目】内科、消化器内科、胃・大腸内視鏡検査、在宅診療

【住 所】神戸市西区前開南町1丁目4-4伊川谷駅前ビル3階

【電 話】078-978-0703

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	△
13:00～15:00	●	●	●	/	●	●	△
16:30～18:30	○	○	○	/	○	/	/

△第2・第4日曜のみ ●内視鏡・訪問診療

休診日/木、土・日の午後、祝日



#### 三宅院長からのメッセージ

女性医師ならではの目線で、患者様お一人おひとりに丁寧な診療を心がけております。気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長 大西 宏之



ホームページ